# さいたま文学館 催し物案内≪8月～9月≫

## ≪講演会・講座≫

| 事業名 | 内容・日時等 | |
|---|---|---|
| **企画展**<br>**飯野和好**<br>おっと、とうげのなかまたちでぃ！ | 「ねぎぼうずのあさたろう」や「くろずみ小太郎旅日記」などの作品で知られる絵本作家・飯野和好氏。土着的でのびやかな画風とチャンバラ時代劇や股旅ものなどに想を得たユニークなストーリーで子ども達から絶大な人気を集めています。本展示では、埼玉に関係のある作品の直筆原画などをもとに、飯野作品の魅力をご紹介します。<br><br>【関連事業】<br>絵本読み語り「おっと、痛快　絵本の読み語りの旅で　開催中！」<br>日時：8月31日（土）13時00分開場　13時30分開演<br><br>会場：1階文学ホール（定員200名）<br>お申込み：さいたま文学館にお電話でお申込みください。<br>（先着順・参加費無料）☎048－789－1515 | 【期間】<br>9月8日（日）まで<br>【開館時間】<br>10：00～17：30<br>【受付】<br>17：00まで<br>【休館日】<br>月曜日（8/12開館）、8/27（火）<br>【観覧料】<br>一般 210円<br>大学生・高校生100円<br>（中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介助の方1名は無料） |
| **中高生講座**<br>**聖地巡礼とは―作られた聖地としての境港市～「ゲゲゲの鬼太郎」～** | 8月21日（水）14：00～16：00（受付13：30）<br><br>【講師】井辻　朱美　氏　（白百合女子大学人間総合学部児童文化学科教授）<br><br>【申し込み】<br>「電話」か「インターネット」でお申し込みください。<br>①電話・・・さいたま文学館（048－789－1515）へ電話し、「参加する方の氏名・学校名・学年・市町村名・電話番号・保護者の方の名前と連絡先」を伝えてください。<br>②インターネット・・・さいたま文学館のホームページにある「中高生文学講座申込」のリンクをクリックして、申込フォームに必要事項を入力してください。 | 【費用】<br>無料<br>【会場】<br>さいたま文学館2階<br>講座室1<br>【対象】<br>埼玉県内に在住、在学の中学生・高校生<br>【定員】<br>40名（先着順） |
| **埼玉文学講座**<br>中島敦生誕110周年記念連続講演会―**中島敦と世界文学**― | 第1回　9月　5日　『文字禍』と反近代―ボルヘス、ボードレール、メーテルリンク、デカルト、スピノザ、本居宣長<br>第2回　9月12日　『山月記』とホイットマン、ドストエフスキイ、ラッセル、カフカ、あるいは『古譚』の構造<br>第3回　9月26日　中島敦の未来性―『虎狩』における「学問」、プラトン、モンテーニュ、オルテガ、小林秀雄<br>講師：日本大学法学部教授　諸坂　成利 氏<br><br>※　全3回、いずれも木曜日、14時～15時30分（13時30分開場）<br>【申込】<br>往復ハガキ（1人1枚）に「講座名（埼玉文学講座）・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号」を明記の上、さいたま文学館「埼玉文学講座」係へお送りください。<br>【締切】<br>8月23日(金)消印有効 | 【費用】<br>無料<br>【会場】<br>さいたま文学館1階<br>文学ホール<br>【対象】<br>埼玉県内に在住、在学、在勤の方または、文学に興味・関心のある方<br>【定員】<br>200名（応募者多数の場合は抽選） |

## ≪その他の主な事業≫

| 事業名 | 日時・会場 | 定員・費用 | |
|---|---|---|---|
| 第3回文芸映画上映会<br>**『イタズ 熊』**<br><br>第42回毎日映画コンクール・日本映画優秀賞<br>監督：後藤俊夫／出演：田村高廣・桜田淳子・辰巳柳太郎　他<br>（1987年作品・カラー117分） | 【日時】<br>9月21日（土）<br>10：00～<br>14：00～<br>【場所】<br>1階　文学ホール | 各回<br>200名<br><br>無料 | 整理券配布終了<br>【当日の入場について】<br>上映5分前に空席がある場合は入場できます。 |

※ 詳細は各ちらしを御覧ください。
※ 各事業につきましては、内容や日時を変更することがございますので、詳細は下記にお問い合わせください。

〒363－0022　桶川市 若宮 1－5－9
TEL ：048－789－1515　FAX：048－789－1517
ホームページ：http://www.saitama-bungakukan.org/



## 『文芸埼玉第１０１号』刊行

平成３１年３月に発表された「第５０回埼玉文芸賞」から、受賞作品１４点及び佳作作品２７点を掲載しています。
応募作品３２２点の中から選ばれた作品です。
受賞作品のうち小説（２点）、エッセイ、文芸評論、児童文学（各１点）について全文掲載しています。
（その他の作品は抄録、長文部門の佳作作品については各部門第1席のみ全文掲載し、他の作品は作品名・作者名紹介のみ）

○埼玉文芸賞受賞作品
「チコは鳴いたよ」（木村　雅樹）　〈小説〉
「耳の肖像」（曲山　浩）　〈詩〉
「朝涼」（丹波　真人）　〈短歌〉




「文芸埼玉」は、さいたま文学館文学図書室、県政情報センター、県内公立図書館等でご覧いただくことができます。
内容や購入方法については、さいたま文学館ウェブサイトの「さいたま文学館の刊行物」をご覧ください。

## 令和元年度　古典の日記念事業『ふれあい短歌賞』

5・7・5・7・7の文字数で気持ちを伝えてみよう。むずかしく考えなくても、だいじょうぶ。
少しくらい字が多くても、足りなくても問題なし！　友だち、家族、先生などと２人１組で応募しよう。

【応募資格】２人１組（１人１首ずつ作成）で応募してください。
（県内在住、在勤、在学の方が含まれることが条件です。）
【募集期間】**令和元年９月６日（金）まで（必着）**
【応募方法】所定の応募票に、作品と必要事項を記入して、FAX・郵送・電子メールいずれかの方法で応募してください。応募票は埼玉県のホームページからダウンロードできます。
【応募先】「さいたま文学館」短歌賞係
〒３６３－００２２　桶川市若宮１－５－９
ＦＡＸ　０４８-７８９－１５１７
電子メールアドレス　oubo@okegawa-culpro.jp
（応募に関する問い合わせ　０４８-７８９－１５１５）休館日を除く
【賞および表彰式】審査の上、優秀な作品を表彰します。令和元年１０月下旬頃、入賞者にのみ選考結果を通知します。選考結果は、県ホームページでも公表します。なお、選考に関する問い合わせには応じられません。
【表彰式】令和元年１１月２４日（日）ソニックシティ小ホール
入賞者には、賞状と入賞作品を掲載した作品集を進呈します。
【注意事項】（１）応募は、自作の未発表作品に限ります。
（２）１組につき１回の応募とします。ただし、相手が代われば何回でも応募可能です。
（３）短歌は原則として5・7・5・7・7としますが、字余り字足らずがあっても構いません。
（４）テーマは設けません。自由に題材を選んでください。
（５）本事業に関わる個人情報は、事業に関わる一連の事項以外に使用しません。
なお、応募票に記載のある個人情報を県内市町村・報道機関等に提供したり、本事業の広報に活用することがあります。
（６）応募作品の著作権は応募者にあります。ただし、主催者が広報のために作品を使用する場合があります。

## 『お話の部屋』

楽しいお話の体験をしませんか！
すばなし、絵本の読み聞かせ、指遊び、言葉遊び、歌、いろんなお話など、
楽しみながら文学に親しめます。

☆☆*毎月第２土曜日開催*☆☆
***８月１０日（土）・９月１４日（土）***
【時間】１０:３０～１１:３０
【定員・対象】４０名　幼児・小学生（保護者同伴可）
【場所】さいたま文学館2階 講座室2
※申込不要・無料です。 直接会場へお越しください！

*ポイントカード発行中！*
ポイントを貯めると・・・
ガチャガチャができるよ！
プレゼントがもらえるよ！

## 休館日（２０１９年8月・9月）



**８月**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | [redacted] | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | [redacted] | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | [redacted] | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | [redacted] | [redacted] | 28 | 29 | 30 | 31 |

**９月**

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | [redacted] | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | [redacted] | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | [redacted] | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | [redacted] | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | [redacted] | | | | | |